

① まず、城北OBの先輩方との食事会では城北と早稲田の両方に精通した先輩方の生の声を拝聴できたことは何よりでした。城北生時代の生活や勉強法、入試の際の心得や、現在の学業や生活などについて、かなり具体的且つ克明に、更には相当突っ込んだ話まで面白おかしく聞かせてくださり、話して下さっている方々が元城北生ということも手伝ってか早稲田の存在がかなり身近なものに思えました。やはり自分も相手も城北の門をくぐって城北の先生方の教えを受けた者同士、気兼ねなく自然体で話し合えたので単純に楽しく、かつ実りのあるものでありました。

2日目のこうはいナビにおいては、早稲田の現役学生による懇切丁寧に学校生活やご自身の勉強法、早稲田の魅力について語ってくださったので具体的なビジョンを持てるきっかけとなりました。また、時間割を組む体験では入学しながらの緊張感も味わえ、早稲田で勉強するのが楽しみになってしまいました。しかし、理想的なスケジュールを組むのは難しいのだとも感じさせられました。

キャンパスツアーにおいては、TV番組でも入ることはないであろう大隈講堂内部の時計塔内を案内していただきました。また、学内の各施設や学部について端的且つ分かり易く教えていただきました。

② 2日しか東京にいなかったが、広島とは全く違う東京の空気にふれ、首都圏に行って生活をしたいと改めて思った。城北の先輩やこうはいナビの大学生の人たちの話をたくさん聞いたが、一人一人の勉強の仕方があったので、自分の勉強方法を見つけなければならぬと思った。ただ城北の先輩に英語のビンテージをやれと言われたので、受験まで何周もしたい。こうはいナビで18+2分勉強法を先輩が言っていたのでこれから取り入れてみたい。

先輩に「あと1年とにかく頑張れ」と声をかけてもらった。夏に行った中央大学でも感じたことだが、大学はとても面白い所だと思った。ただ、もし自分が入学したら何を目的に4年間通うのだろうかと思案と不安を感じた。自分は4年間何もせず過ごしてしまうかもしれない。

③ 自分は今回の早稲田大学見学会に初めて行ったと同時に、初めての東京でした。まず初めに早稲田を卒業した城北の卒業生のお話を聞きました。その先輩の話を見ると、高2の今は野球部が多忙だったので英語は出された宿題しかやっていたようです（でも今とは圧倒的に量が違います）。また、日本史や世界史は模試では95点以上取って当たり前前の科目であるとも仰っていました。それらの話を聞いて自分はやはりクラブ活動をしている方は短い時間で何もクラブをしていない自分たちと同じ勉強量をこなすので、時間が増えると自ずと勉強量が増えるので、驚きと同時に今の自分では戦えないという焦りを感じました。

そして次の日にはメインである早稲田大学見学会へと行きました。初めて見る早稲田を

見てその圧倒的な佇まいに驚愕しました。その後教室に入り早稲田の現役学生の皆さんのお話を聞きました。一番関心を持ったのは18分勉強法で、あれは自分にもできる気がするので、この冬休みに実践してみたいと思います。

今回の見学会で早稲田に対する自分の中での固定観念が良い意味で壊れました。早稲田生は自分たちとは全く何も違っていませんでした。やるか、やらないかの違いだけでした。

④ 時間割作成体験では、水泳や馬術のようなスポーツ系の科目や演劇の鑑賞と理解演習のような“早稲田”らしい科目まで様々な専門的で魅力的な授業がたくさんあり、選ぶのに困りましたが、実際受けてみたい授業を考え抜きました。このような専門的で、魅力的で自分が専攻したい分野の授業をとれるように今回いただいたアドバイスを今後にかけて勉学に励んでいきたいと思っています。

⑤ 僕はこの見学ツアーを通じて改めて受験の厳しさを認識させられました。卒業生との夕食会の中で聞くことができた話はとても印象に残りました。先輩との話の中で思ったことはやはり基本が徹底されていること、計画を立てて生活をしてきたことです。普段の勉強の様子を聞いても計画を立てた内容を時間通りに遂行し、ひたすらそれを繰り返していたとのことだったので、まず自分もその基本的な勉強習慣の定着といったところから取り組んでいかなければならないと感じました。先輩の成績を聞くと目が飛び出るほどの良い成績でしたが、その数字に驚くのではなく先輩のように自分の形を身に付けることから始め、少しずつでも近づけるようにこの一年と少し、意識を改め過ごしていこうと思いました。

⑥ 初日の夜には城北卒の早稲田生と一緒に食事をしたが、たったその短時間だけでも早稲田生のスペックというのを直接感じられた気がする。何か一つ質問をすれば大袈裟かもしれないが10くらい返ってきていたような気もする。城北の先輩が言っていたのはやはりレベルの高い早稲田・慶應に入ると頭の良い人と話すことで創造力や解決力が向上したという。受験生時代のことについて質問してみるとやはり相当早稲田への思いが強かったのだということが分かる。また最後の方にサラッと saying 「この受験を頑張らなかつたらこれから先たぶん頑張れないよ」という、この何気ない言葉が僕には重く感じた。

二日目、こうはいナビの皆さんと実際の時間割等を組んでみたのだが、やはり大学というのは自由度が大きいものだとことを再認識した。そして早稲田生は本当に志の高い人が多くいるなというのも実感した。こうはいナビの皆さんに自由行動の際に個人的に質問したのだが、これまでに「やりたいこと」か「できること」、どちらをとってきたのかという疑問をぶつけてみた。そこで出た結果というのが「やりたいこと」を実行し、失敗して「できること」にシフトしているということだ。この結果に驚いたりしたわけではないが、何度も失敗してから成功が訪れるということを経験者から直接聞いたような気がする。

残りの約1年悔いのないように目標に向かってやり遂げたいと思う。

⑦ 今回の早稲田大学見学会に参加して感じたことは、東京の、そして日本屈指の大学とは何たるかを自分の目で直接見て聞いたことの重要さと、早稲田の先輩方の話を聞く上で自分と大学との距離というものがどれほどのものかを知ることが出来て良かったということです。初めに挙げた、早稲田大学を直接見た感想は驚きしかありませんでした。広島にあるどんなビルよりも高く、綺麗な建物や、多くの外国人留学生、そして授業も全て英語のものが多いことはとても自分の経験や考えから遠くにあるものばかりでした。次に早稲田の先輩からの話はとても良い内容のものが多くあったと思います。城北OBの方々からは勉強面での具体的なアドバイスや、体験談をふまえた話をしていただくうちに自分と目的地との距離がはっきり明確になったような感覚がありました。そしてこの感覚や経験を次にどう用いるのか、活かすも殺すも自分次第、実りある話を本当に実らせることが出来るのは話を聞いた当事者である自分しかいないので、これからの日々でそれをきちんと実らせることが出来るほどに成長したいと思いました。

⑧ 1つ目は高い目標、志望校をはっきりと持つことです。高い場所を狙いとすることで勉強する際のモチベーションになるのと同様に周囲に公言することで、まわりからもある意味でプレッシャーを受け、勉強せざるを得ない状態に自分を投じることができるからです。2つ目はそれを達成するために計画的な勉強を意識することです。これは色々な方から言われているのに、実践してこなかった自分を改めようと痛感しました。

⑨ 1日目の夜ご飯の時間ではずっと僕が聞きたかったことを聞かせていただくこともできました。それは「時間の使い方」についてです。「僕は家にいると全く勉強を始める気にならず、結局夜になってようやく始めてしまうのですが、どうやったらやる気が出るようになりましたか？」と聞かせてもらいました。すると先輩は野球部に高校2年まで入っていて、僕よりも時間がない中、受験勉強をされていました。その先輩も野球の練習が辛かったときは正直、勉強をしたくない日もあったそうです。でも「毎日すること」「遊ぶ時間は目一杯遊び、勉強とのメリハリをつけること」この2つは守るようにしていたよ、とアドバイスをいただきました。僕は今まで大学受験に成功している人のほとんどは勉強が好きでずっとやっていたのかな、と思っていましたが、僕が同じように遊びたいと思っているときがあったよ、と教えていただきすごく安心することができました。勉強と部活、そして遊びを両立しながら受験に合格することは簡単なことではありませんが、先輩に教わったように「時間の使い方」をしっかり決めてがんばりたいと思います。

⑩ 自分は今回、早稲田大学見学会に参加して本当に良かったと思いました。自分が印象

に残っているのは校舎の美しさと勉強方法です。前者についてですが、自分は過去に一度早稲田大学に行ったことがあったのですが、校舎の中に入ったことはなく、今回初めて入ったのですが、どの校舎も写真で見るとより美しく、特に政治経済学部の校舎には目を奪われました。また、勉強スペースや図書館も想像以上に充実しており、本当に素晴らしい大学だなと思いました。次に後者についてですが、早稲田生の方々に自分の勉強方法について数々質問をしてみたのですが、やはりどの先輩方も英語は毎日一題ずつ読んだり、単語帳を2冊買ってどちらも完璧に暗記をしていたりと今の自分の勉強について真剣に考えるきっかけとなったので、すごく良かったと思います。これから自分は最高学年を迎え、“大学受験”という人生にとっての大きな分岐点を迎えますが、自分は今回見学会に参加しモチベーションが強く持てたことは自分にとって大きな武器になると思うので、これからも合格するために努力を積み重ねていきたいと思っています。